FM いずのくに 令和 6 年度第一回番組審議委員会議事録

実施日時：令和 6 年 5 月 20 日(月)　14：00～

実施場所：韮山生涯学習センター

出席委員：和田氏、内山氏、佐野氏、萩原氏、土屋氏
事 務 局：佐口社長、神田

1.　審議番組について
　「Go!Go!Ogino 消防団」について

和田氏
・二人の話がちぐはぐになっていて前半はわかりにくい部分があった
・音が途中で切れていた
・曲の音量が大きかった
・曲とトークの転換が上手じゃなかった
・後半のほうがスムーズな話で聞きやすかった
・緊急の対応時の言葉が変わっていることを初めて知った

内山氏
・消防団の人員が少なく人を集める為に必要
・誰を対象に放送しているのかがわからなかった
・活動の内容の周知、消防団の魅力を伝えるどちらを伝えたいのかがわからない
・現役消防団に聞いてもらうことがまず重要ではないかと感じた
・全体的には聞きやすい放送でした
・女性消防団にも放送に入ってもらったりすることもいいのではないか
・新しい知識になるということが放送としての価値はある、行政がスポンサーの番組でもおかしくない番組だと感じた

佐野氏
・前半と後半で内容の違いにいい印象を受けた
・火災のことだけでなく防災、救急の内容に触れていてよかった
・はたから見ているものと実際の中身が違うのが伝わってきた
・消防団の組織について理解することができた
・後半の救急の通報の実演が良かった。過去に自身が通報する経験があってそれと照らし

合わせて手順を改めて確認することができた
・火災警報器の必要性を感じられた

萩原氏
・分団長経験があり、今回の放送した方とも面識ある
・二人の熱意は伝わってきた
・早口で聞き取りにくい部分があった
・消防団、消防団員、消防活動の魅力をもっと話した方が良いと感じた
・コミュニケーションを形成する場としてもなっていたので、その価値を伝える内容にもなっていくと良い
・火災報知器の話も継続的に話していくことが大事、もっと丁寧に話してもよい
・後半の救命、通報の実演は専門家が知っていればいいだけの情報ではないのでラジオを通じて伝えることは大事か感じた
・若い団員や女性団員にも出てもらうことがいいのではないか
・本部と分団とのコミュニケーションの場としての放送回があってもいいと思う
・この放送を聞いて消防団に入りたいなと思う人が増えたらいいとは思う

土屋氏(書面による事前意見をもらった)
・消防団幹部の話を聞いたが思い(消防団員の誇りや社会の期待に応える)が伝わってこない
・放送を通じて何を訴えたいか煮詰まっていないと感じた
・具体的な進行要領のものが必要ではないか
・三福区では消防分団に近い組織を立ち上げた
・新しく区民になってくれる方々にも協力をしていただきながら仲間づくりを進めている

2.　その他

次回　令和 6 年 7 月 22 日(月)　会場は韮山生涯学習センター